

【9月定例会市議会一般質問】

- 競馬場跡地活用について
 - 子供のための環境整備
- 医療行政について
 - ジェネリック医薬品の推進
 - より精度の高い子宮頸がん検診の導入
 - こども医療費助成に関するサービスの充実
- 観光行政について
 - 足利学校を核とする「学び舎のまち足利」づくり
 - 空き店舗対策事業の拡充
- 教育行政について
 - いじめ問題と対策



▲長岡市、子育ての駅「ぐんぐん」防災の拠点機能も整備。



▲震度3度以上で警報を出す販売機 ▲子育ての駅



※概ね実現に向けての答弁。こども医療助成の申請、働くお母さんは、なかなか申請に行くことができません。郵送で切手の心配のない受取人払いの封筒を用意することを提案。今年1月から実現、封筒は申請書の置いてある公民館、行政サービスセンター（アビタ）、市役所にあります。観光行政ではストーリー性をもちた観光施策を提案。以前質問の回遊性をもたせた周辺整備も着々と、1月には足利学校周辺の景観について地域住民との懇談会を都市計画課で開催、空き店舗重点地区も市立美術館の付近まで拡大。

【12月議会市議会一般質問】

- 公共交通システムについて
 - 生活路線バスの活用
 - 買い物弱者支援対策
- 教育行政について
 - 情報サポーターの配置と教育環境の充実



※生活路線バスの採算性や利用状況を訴え、市民が求めるデマンドタクシーを提案。県内の多くの市町で事業化されているのに…。また、情報サポーターの位置付けの重要性を訴え、いじめ問題の対応にもネットパトロールの必要性を感じるとの質問には、今後、業者への対応を検討するとの答弁。業者が子供達のことをどれだけ把握できるのかと思うと懸念を示す。

中島ゆみ子 私のライフワーク 働く女性の子育て支援

足利の将来、日本の未来を支えるのは、仕事と子育てを両立するお母さんあなたです。

第3子保育料完全無料化、声の実現に！

今年4月から『第3子保育料完全無料』と『3歳児未満の保育料15%削減』が実現しました。そして、3歳未満までの『こども医療費の現物給付も3歳未満から未就学児まで拡大』しました。以前、共働き家庭が増えている中「多額の保育料を支払っているのが大変、特に低年齢児は高い！」との声を聞きました。近隣と比べると確かに高く、担当課に話すと税金が上がらないと難しいと…。創意工夫も仕事のうち、努力が足りない20。

今回は、保育所統廃合や民営化などの行政改革を進めてきた財源を基に市民の皆さんに還元できることになりました。第3子保育料無料化の対象は、保育所200人、幼稚園259人で約6,480万円を負担します。3歳児未満保育料15%削減の対象は795人で市の負担は約2,800万円。出生率アップにつながるというのですが…。こども医療費による歳出は約4,800万円と見込み、現物給付になると県の補助率が1/2から1/4に減るため市の負担がさらに約2,300万円増えることとなります。足利市も子育てにやさしい街に、私も働しながら3人の娘を育てた経験者として感動もひとしおです。



子や孫に、立派な足利市を残してやりたい。

素敵な足利づくり With Yumiko ~スタッフ、サポーター登録のお願い~

ゆみ子ボランティア青い鳥

ゆみ子さんと一緒にボランティア活動しませんか。年齢、性別は問いません。誰でもなれます。幸せを運ぶ青い鳥に…。(代表：坂田英次・萩原典子)

ゆみ子サポーターズ“絆”

子育て世代の良き理解者として活動しているゆみ子さんの応援団です。子育て奮闘中の皆様、楽しく自分磨きをしながら、一緒に「素敵な足利づくり」しませんか。(代表：梅沢聖美・窪淑恵)

スタッフ登録募集中!

連絡先：中島ゆみ子後援会(キラリゆみ子会)事務所

〒326-0808 足利市本城1-1601 Eメール y-n0331@02.watv.ne.jp

& FAX 41-7030

サポーター登録受付中!



足利市議会議員 中島ゆみ子

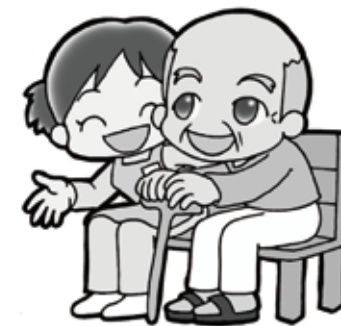
事務所 〒326-0808 足利市本城1-1601 & FAX 41-7030 携帯 090-6348-7348 Eメール y-n0331@02.watv.ne.jp ホームページ http://kirari-yumiko.net/

いつも犠牲になるのは弱い立場の人達、私は、その人達の役にたたい。

通院・買い物、便利に「生活の足」の確保を!

新 足利赤十字病院が開院して間もなく「ゆみ子さん、日赤まで行くのにタクシーで往復3,000円もかかるんだよ、医者に行くのも大変」と事務所に電話を掛けてきたおばあちゃん。その後そんな声を多く耳にした私は、長野県の安曇野市で家の前から目的地まで送迎してくれる『デマンド乗合タクシー』の先進地視察に向かいました。14台のタクシーに、毎年8万人を超える人達が利用し、約9,600万円の事業ですが行政のサービスは充実していました。

足 利市にもこんなシステムがほしい…。と思っていたら民生委員さんから「この地域も買い物に行くのに困っている人達がたくさんいる。前に話していたデマンドタクシーの話聞かせてほしい。対策としての勉強会をやってほしい」と申し入れがありました。足利の中央地区は高齢化率が最も高く、今、車を運転し不自由なく生活している私達でも…、やがて自転車に、自転車利用者も杖をつきつづ徒歩に変わる。昭和通りには生活路線バスの停留所もあるけれど、私でも近くのコンビニに行くのに常に車をつかってしまう、杖をついたおばあちゃんに本城の山の奥から昭和通りまで歩い



で行ってなんて言えない!私はただちに相談にのりました。柳原地区では、昨年「柳原地区生活路線・買い物支援を考える会」を発足、私は顧問として関わり、9月に自治会長・民生委員・老人会の人達が参加して交通弱者対策の勉強会を開き11月アンケート調査の確認、12月定例会で議会一般質問、地域の皆さまの代弁者として当局に質問しました。地元の自治会長さん、民生委員さんたちも議会傍聴にきてくれました。心強かったです。本当にありがとうございました。

最 初とあって当局も手ごわく足利市は生活路線バスを考えていく…。地域の実情、県内外の事例、議員調査の結果をあげるが平行線、しかし、足利市地域公共交通会議で今後作られる「地域と協働で移動手段を確保するルール」の中で支援を約束させることができました。

今 年に入って、1月30日に大正町自治会館で議会報告、(株)日本総合研究所の民生活型デマンド乗合タクシーの概要を資料とし説明して、タクシー会社の関係者を招いた中で助言を戴きました。2月10日も本城1自治会館で一般対象者に向けて議会報告会を行いました。

中央地区ひとりぐらし高齢者・高齢者世帯 (平成24年10月現在)

地区	ひとりぐらし高齢者(人)	75歳以上の夫婦のみ世帯	65歳以上の地区人口と高齢化率
柳原	男57 女234 計291	296世帯	1,743人 36.00%
西校	男34 女135 計169	181世帯	1,120人 35.16%
東校	男22 女111 計133	107世帯	710人 36.52%
相生	男33 女117 計150	169世帯	1,025人 39.38%

お気軽にご一報を!

出前懇談会

市政報告!私の近況報告!お茶の間、井戸端会議へお電話一本で参上します。あなたの夢、希望もお聞かせ下さい。

